

## 論文の要約

氏名： 肖宇彤

論文題目： 中国人日本語学習者の意見文に関する研究—日本語教育現場における有効な指導法をめざして—

要約：

### 1. 研究目的と課題

本研究の目的は、アカデミック・ライティングにおける意見文を取り上げ、中国人日本語学習者（以下、中国人学習者）の意見文における文章観・文章構造の特徴を明らかにし、有効な指導法を提案することである。そのため、本研究ではまず、2つの面から指導すべき項目を抽出する。1つ目は、中国人学習者の意見文における文章観の特徴から、指導する際の注意点を抽出することである。具体的には、先行研究で指摘されている日本語学習者の第二言語作文に対する苦手意識を考慮し、その苦手意識の背後にある要因を探るため、中国人学習者が意見文をどのように認識しているのかを明らかにする。分析では、中国人学習者の学習背景にある要因に重点を置く。2つ目は、中国人学習者の意見文における文章構造の特徴から、指導すべき項目を抽出することである。具体的には、中国人学習者が書いた意見文を分析材料として、文章論の分析観点を受け継ぎ、文章を統一体として、その文章構造を分析する。そして、分析結果を日本語母語話者の意見文における文章構造と比較し、中国人学習者の意見文の文章構造の特徴を明らかにする。そこで、本研究では以下の3つの課題を設定した。

#### 【課題1】

中国人学習者の意見文に関する文章観について、中国語の議論文との比較を通して明らかにする

#### 【課題2】

中国人学習者が書いた意見文の分析を通して、意見文の文章構造の特徴を明らかにする

#### 【課題3】

中国人学習者への文章観及び文章構造に基づく意見文の有効な指導法について、実践を通して検証を行う

### 2. 本論文の構成

以上の課題を説明すべき、本論文は、全7章から構成される。

序論は第1章であるが、第1章では、本研究の背景と目的について述べた。

第2章では文章論における文章研究及び日本語教育における文章研究を概観し、本研究の分析観点となる文章観及び文章構造に関する先行研究を概観した。その上で、本研究の位置付けを行った。

第3章では、課題1の解決を目指し、中国人学習者の意見文における文章観の特徴を説明することを目的とする。そのため、中国人学習者の中の「議論文」における文章観との比較から検討した。

第4章と第5章では、課題2の解決を目標に、中国人学習者の意見文における文章構造の特徴を明らかにすることを目的とした。第4章では、中国人学習者の意見文における文章構造を分析し、その特徴を日本語母語話者の意見文と比較しながら検討した。第5章では、第4章の分析結果に基づき、中国人学習者の意見文の文章構造を可視化した。

第6章では、課題3の解決を目的とし、第3章から第5章で抽出した指導項目をもとに、中国人学習者を対象として意見文指導の授業実践を試みた。

終章は第7章であるが、第7章では第1章で示した3つの課題に対する結論をまとめ、それを踏まえ、本研究の意義と今後への展望を述べた。

以下の3節で、各章（序章・終章を除く）の考察をまとめる。

### 3. 各章の考察と結論

第2章「本章の理論の枠組み」について。これまでの文章に関する研究は、文章論または日本語教育分野において行われており、文章論における文章研究は文章そのものの解明を中心としており、日本語教育分野における文章研究は日本語母語話者と日本語学習者の文章を対照することに重点を置いているように見えた。本研究では、中国人学習者の意見文を取り上げ、文章観と文章構造の解明を中心とするため、第2章で分析の方法を定めた。具体的な手順としては、まず、中国人学習者の母語にある文章観が、彼らの意見文にどのような影響を与えるかについて検討する。その上で、中国人学習者の意見文における文章観の特徴を明らかにする。そして、中国人学習者の意見文における文章構造を、日本語母語話者と比較しながら分析する。分析の際、永野（1979）の観点に倣い、形態面の手がかりを得るために、形式段落（いわゆる「段落」）を文章の構成要素とし、分析単位とする。その上で、文章の作成の過程に置いて、書き手の思考パターンを表す文章構成を文章構造の一部として、文章構造（特に連鎖の観点から見た文章構造）を分析する。

第3章「中国人学習者の意見文における文章観」について。第3章では、「意見文」に対応する中国の文章ジャンルとは何かについてアンケート調査を行った。その結果、先行研究でも散見されたが、中国人学習者の中に「意見文＝議論文」という認識が見られた。次に、「議論文」がどのようなものなのか、意見文という文章ジャンルに比べると、どのような特徴があるのかについて分析した。本章は、特にその分析を、中国の「高考」という範疇において行った。そして、評価基準から「良い議論文」の特徴として、素材への重視度が高いこと、綺麗な言葉遣いが望ましいこと、「抒情」という表現手法が重視されること、一文が一つの形式段落になる「強調段」が出ることがわかった。最後に、そのような特徴は中国人学習者が書いた意見文の中にも現れたのかについて作文調査を行った。その結果、中国人学習者の意見文における「主張」の非明示、及び「強調段」の出現という2点で、「議論文」の文章観からの影響を受けた可能性が高いことが明らかになった。

第4章「中国人学習者の意見文における文章構造の特徴」について。第4章では、中国人学習者向けの意見文の指導へのよりミクロな示唆を得るため、文章構造を「意図の構造」「意味内容の構造」「文脈展開の構造」という3つの層に分けて分析した。「意図の構造」の分析では、形式段落を単位として、構成要素を分析対象とした。分析結果から、[問題提起][根拠][譲歩][提言][状況説明]に中国人学習者と日本語母語話者の間に差が見られた。「意味内容の構造」の分析では、まず、言語形式上の指標を参考に、中国人学習者と日本語母語話者の意見文における文の機能を分析した。その結果、中国人学習者の意見文では「事実を述べる文」は60%以上を占めていることがわかった。そして、日本語学習者の多くが作文を書く際に必ず触れる作文教科書に記述されている文型を中心に、中国人学習者と日本語母語話者の意見文における使用状況及び使用傾向を調べた。その上で、文機能と文型の分析をもとに、意見文を書く際の「基本文型」と「発展文型」をまとめた。「文脈展開の構造」の分析では、「主語」に焦点をあて、「主題主語」と「主格主語」の使用状況、形式段落における主語の連鎖の展開型、冒頭の段落と末尾の段落における主語の連鎖の展開型、「書き起こしの文」と「書き納めの文」の型を中心に分析した。その結果、ま

ず「主題主語」と「主格主語」の使用状況について、中国人学習者の意見文には「主題主語」の多出が見られた。特に、課題文にあげられていない情報（つまり新情報）を主題として持ち出した主語が多かった。また、形式段落における主語の連鎖の展開型について、日本語母語話者の意見文には、「既出事実/一般的な命題」で段落を締めくくり、後続する段落は「既出事実/一般的な命題」で始めるという展開の型が特徴的であった。中国人学習者の意見文には、「新出の事象」で段落を締めくくり、後続する段落は「新出の事象」で始めるという展開の型が特徴的であった。そして、冒頭の段落と末尾の段落における主語の連鎖の展開型について、中国人学習者の意見文の冒頭の段落における主語の連鎖は、「新出の事象」の文から展開する型が特徴的であり、特に「1つ/複数の現象文→1つ/複数の判断文」という展開の型が多く、末尾の段落における主語の連鎖は、「先行する文の主語を引き継ぐ文新出の事象」の文から展開する型が特徴的であり、特に「1つの準判断文の連鎖」という展開の型が多かった。最後に、「書き起こしの文」と「書き納めの文」の型について、中国人学習者の意見文は現象文の書き起こしが最も多くに対して、日本語母語話者の意見文は判断文の書き起こしが最も多かった。

第5章「中国人学習者の意見文における文章構造の可視化」について。第5章では、第4章の中国人学習者と日本語母語話者の意見文における文章構造に対する分析の結果に基づき、それぞれのグループの文章構造を可視化した。まずは、「意図の構造」と「意味内容の構造」のそれぞれを個別に可視化した。「意図の構造」の可視化の結果から、意図の構造の展開方向では、中国人学習者は水平方向の展開に偏り、日本語母語話者は垂直方向の展開に偏る傾向が見られた。また、中国人学習者の意見文には「鎖状の水平構成」が特徴的であり、日本語母語話者の意見文には「連続的垂直構成」が特徴的であった。そして、「意味内容の構造」の可視化の結果から、文機能と文型の関連性が見られた。特に文機能の割合が一見で見られるようになり、中国人学習者の意見文には事実の機能を持つ文の使用率が高いことがわかった。最後に、「意図の構造」、「意味内容の構造」、「文脈展開の構造」という3つの層を合わせて、中国人学習者と日本語母語話者の意見文における文章構造を可視化した。その結果、中国人学習者の意見文における文章構造の特徴として、マクロな視点から見ると、全体的には水平的な展開という傾向があり、文章は新出事象の提示で書き始め、既知事象の提示で書き納めていることが見られた。また、ミクロな視点から見ると、文章は事実の機能を持つ文で書かれ、判断文が多いこと、文章の冒頭部は事実を述べる文で書かれ、中心部は意見を述べる文が現れ、結末部は意見を述べる文で書かれていることが見られた。

第6章「中国人学習者向けの意見文の授業実践」について。第6章では、第3章での分析から見られた中国人学習者の意見文に対する文章観の特徴、第4章での分析から見られた中国人学習者の意見文の文章構造の特徴、そして、第5章の中国人学習者の文章構造の可視化した図に踏まえ、中国人学習者向けの意見文指導の項目を整理した。その上、「反省的な授業実践」を行い、以上の指導項目を持って、効果的な意見文指導ができるかについて検討した。その結果、本研究で得られた指導項目を用いて行った授業実践は、効果的であることがわかった。